

# はたちの夢

日下 雄太さん



本日は、成人を迎えた私たちの門出に際し、このような盛大な式典を開いていただき、誠にありがとうございます。また、お祝いや激励の言葉をいただきました。町長様はじめ、御来賓の方々、そして、御出席して下さいました皆様、誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

今日に至るまで、私たちは様々な経験を経てまいりましたが、東日本大震災についてはこの場で触れておかなければならないと思います。地震、津波及びこれらに起因する福島第一原子力発電所の事故によって、当時小学5年生だった私たちは、避難を余儀なくされました。その年の夏に、広野小中学校は、それぞれ

わき市の小中学校の一部を借りて再開しましたが、一学年十数名程度と、とても人数が減ってしまいました。本日も鮮明に覚えています。本日29名がこの成人式に出席しておりますが、加えて、この広野町で成人式を迎えるはずだった仲間たちが全国各地にいるということ、この場をお借りしてはつきり申し上げたいと思います。また、震災をはじめ幾多の困難を、時には一人で、時には共に乗り越え成長してきた仲間たちと、この広野町で成人式を迎えられることを大変嬉しく思います。

私は今、東北大学文学部で社会学を専攻しています。同時に教育免許の取得を目指し、日々勉学に励んでいます。加えて、在学中に震災で浮き彫りになった社会課題の中から一つを絞り込み、卒業論文を書きたいと考えています。卒業後は、教員ないし一社会人として、この故郷に根を張って、目指した分野の世界で、さらに成長し、将来の世代へ還元していきたいです。そのためにも今は、知識を蓄え、世代・国籍などを越えた人々と交流することで、大人として、一社会人として、必要な力を養おうと思います。また、既に社会人として働いていたり、スポーツ等の分野で目覚ましい活躍を見せる仲間たちもいます。彼ら、彼女らからは刺激を貰ってばかりです。共に「母校の誉れ打ち立てん」とすべく、切磋琢磨していきたいです。

最後に、私たちが本日ここで成人式を迎えることができたのは、ひとえに、私たちを支えて下さった家族、導いて下さった先生方、そして仲間たちのおかげです。この感謝の気持ちを忘れず、「いざや進まん道遙か」の決意を持って精進して参りますので、どうかこれからも私たちを見守ってくださいませようよろしくお願い致します。簡単ではございますが、以上をもちまして成人式の挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

# はたちの夢

大和田 瑠華さん



本日は、私たちのために、このような盛大な成人式を催していただき、誠にありがとうございます。また、お祝いと激励の言葉を頂きました。町長様をはじめ、来賓の方々、さらに御臨席を賜りました多くの皆様、誠にありがとうございます。東日本大震災から早くも9年が経とうとしています。当時小学5年生だった私たちは、成人式という大きな節目を迎えました。離ればなれとなった友人達と会場で再会し、みんながそれぞれの道に進んでいることを知り、感慨深く思います。

私は現在、県内の大学の夜間学部に通っています。夜間

学部では多様なジャンルの科目を受講でき、生徒も社会人や高齢の方まで年齢層も幅広いので楽しく学んでいます。特に、社会福祉や児童虐待、自殺問題、セクシユアルマイノリティについて興味関心があり学んでいます。震災や高校生活を通して、当たり前の日常が崩れることがあること、当たり前の日常は当たり前ではないということ、学びました。人の生活の基盤を学び、どうすれば日常を次の代へ繋いでいけるのか。また、目の前の人と自分はどう向き合うか、何が出来るのかを学びたくて、それらの学問を学んでいます。大学ではダンス

も始め、誰かのために、仲間のために頑張ることの強さや協調性、自分の個性、人付き合い、マナーなど、人として学ぶことが多くあります。大学卒業後の進路はまだ決めていないのですが、人の生活の基盤を支え次世代に繋いでいける、目の前の人に寄り添える仕事に就けたら嬉しいと考えています。今こうして大学で学べていることは、祖父母と両親のおかげです。本当に感謝しています。また、小中高の友人、お世話になった先生方、サークルの仲間、今まで自分と出会ってくださった皆様のおかげで今の自分があります。本当に感謝しています。20歳の大きな節目を迎え、まだ未熟とはいえ、今よりもさらに大人としての責任を持った行動が必要だと改めて感じております。私たちがこれからする行動の一つ一つの選択の重さを意識し、それを実際に行動に移したいと考えております。本日の式でいただいた沢山の祝福と、今まで私たちが受けてきたすべてのご恩に対し、重ねて感謝を申し上げます。新成人代表の挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

# 謝辞

佐藤 美羽さん



本日は、私たちのためにこのような盛大な式典を催していただきまして、誠にありがとうございます。

また、お祝いや激励の言葉をいただきました。町長様、ご来賓の方々、ご出席いただきました皆様、誠にありがとうございます。

経験があるにしろ、全員がこの特別な経験を、各々の想いを持ちながら生きてきました。その中で、等しく皆、家族や人との縁の大切さ、何より今を大切にしなくてはならないか。この想いをもとに

同を代表して、心より感謝申し上げます。今日この日を以て、正式に大人の仲間入りを果たすことになりました。この中には、既に社会に出ている者、更に勉学に励む者など、状況は異なりますが、一人一人がその責任の重さを自覚し、名実ともに大人として認められるよう、精進してまいります。私たちが生まれて20年の年月が過ぎました。時にはお腹が振れるほど笑ったり、人目を忍んで涙を流したりと、それぞれの日々を過ごしてきたことでしよう。そして私たちはこの地に生まれ育ち、震災を経験しました。それぞれに様々な

どんな時も力強く、人に優しく生きていくことができると思えます。そして今日を健康に迎えられることに喜びを感じております。まだまだ未熟な私たちですが、成長を見守っていただければと思います。最後になりますが、このような素晴らしい式典の開催にあたり、ご尽力くださった関係者の皆様、お祝いや激励の言葉をいただきました。町長様はじめ、ご来賓の方々、ご出席いただきました皆様、誠にありがとうございます。皆様、本日は誠にありがとうございました。